



JAMCA ニュース

No.114

2022年7月1日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町31

ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

変わりゆく環境に柔軟な対応を



日産・自動車大学校 学長
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

本廣 好枝

コロナと共に我々の学校運営も3年目を迎えました。感染対策も日常の風景となる中、JAMCA 会員校におかれましても無事令和4年度が始まっていることと思います。

さて、整備専門学校を取り巻く環境は変化の時を迎えています。100年に一度の大変革と言われる自動車産業界の動きもさることながら、学校運営を大きく左右する変化も避けて通れません。整備士という職業の魅力について発信力の弱さや社会的位置づけの曖昧さからくる入学者数の減少、留学生の母国への足止めと入国後の支援体制、自動車整備士資格制度見直しの公布&施行等、これらの動きについても取り組むべき課題は多く、私たちの自助努力だけでは解決が困難なことも事実です。各方面でのご支援・ご理解にも期待を寄せるところが大きく、今号ではそのような思いから一面を担当させていただきます。

まず、整備士という職業の魅力の発信・社会的位置づけについてです。最近では、なりたい職業のランク外の地位に甘んじている整備士という職業ですが、現場の環境は一昔前に比べれば改善傾向にあると言えますし、車の新技術と共に重責を任される仕事になっています。そうした実態は個別の説明では周知に限界があります。

今年1月、岸田総理が自動車整備士等と車座対話を実施した際、業界の環境整備に努めなければならないとコメントされ、整備士不足等の業界が抱

える問題にも関心を示されました。このようなアクションの影響力は大きいと感じます。今後も定期的に世間の話題となり、業界を広く知って頂く機会が生まれるよう願っております。

また、魅力を高めるためには時代の流れを捉えた現場レベルでの改革と制度的なバックアップも必要ではないかと考えます。FAINESのようなデータベースや車両の外部診断機を使用することにより整備業界も今後はICT化、DX化の傾向にあります。文部科学省はGIGAスクール構想の下で教育委員会などに端末購入の支援、ネット環境整備支援をされており、整備専門学校に対してもこうした支援が期待されます。教育の現場が進化していくことで整備士に対する古いイメージを払拭し、これまで取り込めていなかった若者達を業界に取り込めるきっかけにもなるのではないのでしょうか？

次に、留学生についてです。整備専門学校における留学生の割合は年々拡大傾向にあり、日本人18歳人口減少の救世主とも言える存在です。このJAMCA ニュース No.112 においても特集記事が組まれていた通り、特に多くの東南アジア諸国の学生が整備士を目指して来日しています。しかしながら、コロナ禍の制限で入国促進には歯止めがかかってしまいました。整備士不足に待ったなしの状況の中、希望する学生が早期に入国が叶うような取り計らいと、入国後についても安心して学びが継続できるよう、奨学金制度の充実

等特別な配慮があればと思います。

最後に、自動車整備士資格制度等見直しについてです。全国には820万台の保有があり、職業としての安定性はコロナにも負けません。しかしながら、職業として選ばれるためにはステータスも必要であり、それを可能にするのが一級自動車整備士だと思います。先日公布された「見直し」においては自動車検査員に選任できる資格として一級自動車整備士のみが担うことが検討されましたが、そもそもの人数が少ないことから継続検討課題となりました。整備振興会さんの登録試験合格率は順調に上昇傾向で一級保有者も徐々に増えている今だからこそ、活発な論議を行い、是非この課題に早期に結論が出ることを期待しています。

整備専門学校としては変わりゆく環境に柔軟に対応しながらも、各方面からのご支援・ご理解をいただき、多くの整備士を今後も社会に送り出し続けるという使命を果たしてまいりたいと思います。

CONTENTS

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 2面 | コロナ禍でもバイクの販売が好調！バイクブームの再来か？ |
| 3面 | クルマ大好き！活躍!! 卒業生 |
| 4面・5面 | 最近話題！「スマートシティ」に注目 |
| 6面・7面 | 協会トピックス・地区通信 |
| 8面 | 私の教材活用・お知らせ・編集後記 |